

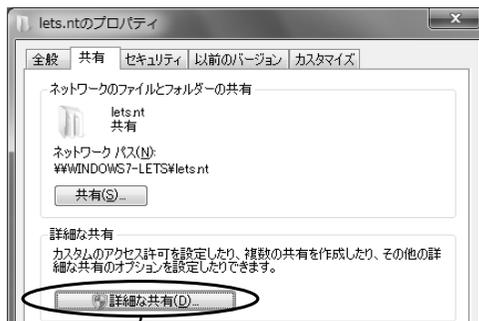
Windows 7 をサーバー機にする場合の注意点

Windows 7 をサーバー機として使用する場合は、以下の点に注意し、サーバー機を設定してください。

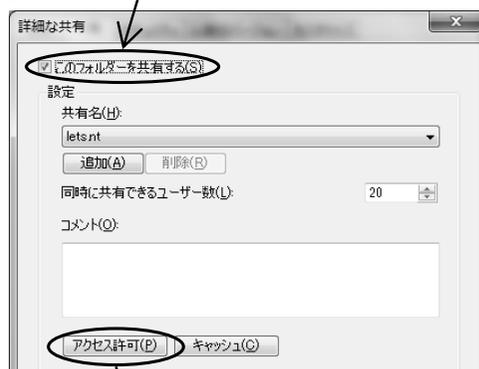
下記作業は必ず管理者に確認の上、行ってください。

■共有フォルダ (LETS.NT) のプロパティ設定

- ① 「LETS.NT」 のプロパティ画面で「共有」タブを選び、[詳細な共有] ボタンをクリックします。

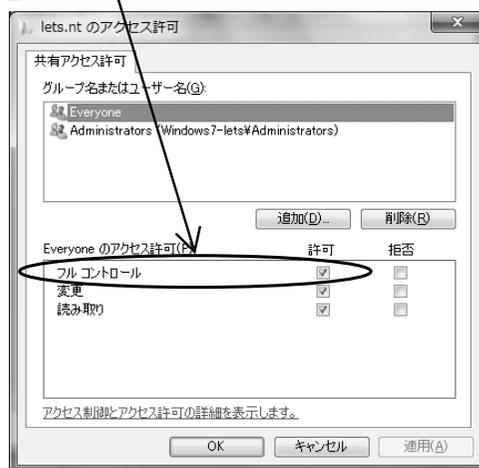


- ② 右の画面が表示されますので、「このフォルダを共有する」のチェックをONにします。



- ③ ②の画面で[アクセス許可] ボタンをクリックし、レッツ工事台帳を使用するグループまたはユーザーに対するアクセス許可の「フルコントロール」の「許可」のチェックをONにします。

上記2箇所のチェックボックスが未チェックの場合は、クライアントのインストールが失敗します。



■ファイアウォールの設定

ファイアウォール機能が有効になっている場合、Windows ファイアウォールの設定の「ファイルとプリンタの共有」のチェックをONにしてください。

※右の設定画面へは[スタート]→

[コントロールパネル]→[システムとセキュリティ]→[Windows ファイアウォールによるプログラムの許可]と順に選択します。

Windows ファイアウォール経由の通信をプログラムに許可します
許可されたプログラムおよびポートを追加、変更、または削除するには、[設定の変更] をクリックします。
プログラムに通信を許可する危険性の詳細



Windows 7 ヘインストールする場合の注意点

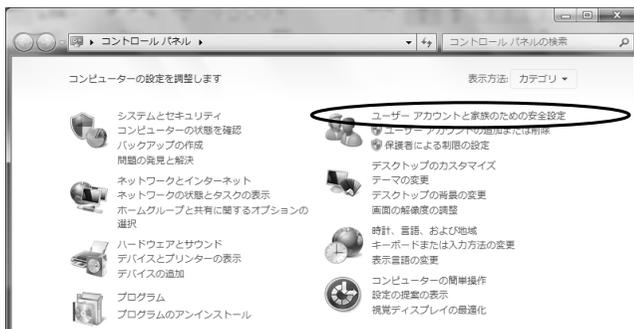
■セキュリティの設定

Windows 7 はこれまでのWindowsに比べて、安全性を強化するよう設計された多数の新しいセキュリティ機能が搭載されているため、インストール途中でさまざまな確認メッセージが表示されることがあります。

特にLAN対応版をインストールする場合、デフォルトの設定のままだと「ユーザーアカウント制御」のため、ネットワークドライブが正常に参照できません。

下記手順より「ユーザーアカウント制御」の設定を変更してください。

- ① [スタート]→[コントロールパネル]→[ユーザーアカウントと家族のための安全設定]をクリックします。



- ② 「ユーザーアカウント」をクリックします。



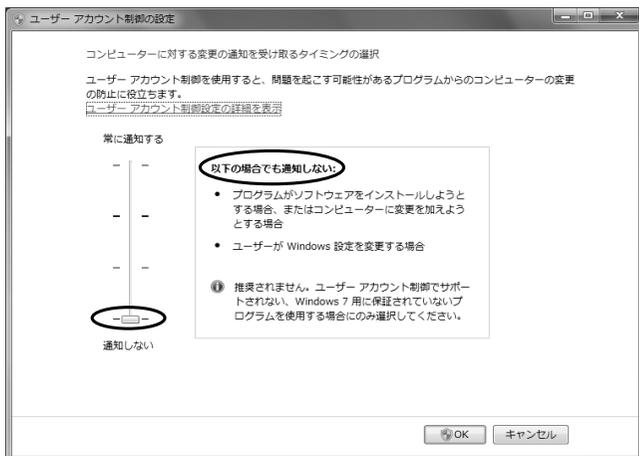
- ③ 右の画面が表示されるので、「ユーザーアカウント制御設定の変更」をクリックします。



- ④ バーを一番下まで下げ、「以下の場合でも通知しない」を選び、[OK] ボタンをクリックします。

- ⑤ 再起動を促すメッセージが表示されるので再起動を行ってください。

- ⑥ 起動後、本マニュアルに沿ってレッツ工事台帳のインストールを行ってください。



インストール終了後は、設定を必ず元に戻してください。